

各位

会社名 株式会社オリエントコーポレーション
代表者 代表取締役社長 飯盛 徹夫
(コード番号: 8585、東証プライム)
問合せ先 財務部 I R 室長 西田 隆浩
(TEL. 03-5877-1111)

2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日~2025年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 263,000	百万円 20,000	百万円 20,000	百万円 20,000	円 銭 116.37
今回修正予想 (B)	249,500	12,000	12,000	12,000	70.10
増減額 (B-A)	△13,500	△8,000	△8,000	△8,000	
増減率 (%)	△5.1	△40.0	△40.0	△40.0	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	229,054	16,118	16,118	12,571	73.30

2. 修正の主な理由

業績の下方修正の主な理由は、海外のタイ子会社 (以下、OALT)、インドネシア子会社 (以下「OBF I」)、2024年3月に連結子会社化しました株式会社オリコプロダクトファイナンス (以下、「OPF」) の各社における業績の下振れによるものであります。

OALTにおきましては、タイ経済と自動車販売市場の低迷に加え、営業戦略の転換が道半ばの状況であることから取扱高が伸長せず、需給悪化による自動車価格下落を受けた引揚車両の売却損の拡大もあり経常利益が期初計画を大きく下回る見込みとなりました。

また、OBF Iにおきましても、自動車販売市場の低迷やインフレの継続による家計逼迫の影響に加え、取扱いを拡大した商用車等の一部取扱車種で延滞債権が想定以上に増加したことから、貸倒関係費が期初計画を上回り、経常利益が期初計画に届かない見通しとなりました。

OPFにつきましては、PMI (Post Merger Integration) を進めておりますが、業務改善命令を踏まえた営業方針変更の影響等により取扱高が想定通り進捗しなかったことに加え、市場金利の上昇に伴う流動化収益の減少を主因に、今期の経常利益が期初計画から大きく乖離する見通しとなったものであります。

以上を主因といたしまして、当期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がともに前回発表予想を下回る見通しとなったものであります。

OAL Tにつきましては、量より質を軸とした事業戦略を推進し、良質債権の積上げを図るとともに、貸倒関係費の圧縮を進め、OBF Iにつきましては、体制を刷新し、与信・回収および営業体制を強化し、債権ポートフォリオの良質化を進めてまいります。

OPFにつきましては、連結化効果を高めるべくPMIを加速し、安定的に収益を上げられる事業構造への転換を目指してまいります。加えて、同社の基盤・強みを活かしたシナジー効果の追求等を通じ、当社の収益基盤の更なる強化を図ってまいります。

なお、安定的かつ継続的な還元を目指す株主還元の基本方針に基づき、期末配当金につきましては前回公表内容から変更はありません。

以上